

第2次白山市総合計画基本構想

1 将来都市像

健康で笑顔あふれる元気都市 白山

～次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち～

白山市は平成17年に合併して以降これまで、「豊かな自然と共生する自立と循環の都市」を将来像に、様々なまちづくりを展開してきました。

この間、少子化による急激な人口減少、高齢化の進展による福祉施策の多様化など、国や地方を問わない喫緊の課題が山積し、社会情勢は大きな転換期にあります。

こうした不透明な時であるからこそ、私たち白山市民は互いを敬い、尊重し、協力し合う中で、他に誇ることのできる次世代への贈り物「白山市」を創造し、引き継いで行かなければなりません。併せて、私たちの白山市には、多様な自然、幾多の伝統文化があります。これらが調和し、それぞれを活かし、紡ぎ、継承することが何より大切です。

私たちはこれらを念頭に、あらゆる施策を推進し、未来に明るい、夢と希望あふれる、「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」を実現するため、市民協働で確実なる歩みを進めます。

2 基本理念

健康 市民一人ひとりが健康で活躍するまち

まちづくりの主役は、白山市で生まれ育った人、白山市に新たに住む人、白山市を訪れる人、白山市で働く人、白山市を愛する人など、全ての「市民」です。

全ての「市民」が、家庭や地域、社会などの様々な舞台で個性を発揮し、一人ひとりが心も体も健康で、活躍するまちをめざします。

笑顔 地域や世代を超えた交流による笑顔あふれるまち

県内最大の市域を誇る白山市には、様々な地域があり、多様な価値観をもった「市民」が生活を営んでおり、様々な可能性に満ちあふれています。

これら様々な可能性の具現化に向け、全ての「市民」が、ふるさと白山市への郷土愛を持ち、互いを尊重し、協力し合いながら、自ら楽しみチャレンジすることにより、地域や世代を超えた交流が生まれ、笑顔あふれるまちをめざします。

元気 人も自然も産業も元気なまち

白山市には、白山、手取川、日本海などの自然の恵みに育まれた歴史、伝統、文化、産業、そして「市民」の活動があり、多くの魅力が凝縮されています。

この多様な魅力を最大限に引き出し、育むとともに、新たな魅力を創造することで、人も自然も産業も元気に輝き、活力みなぎるまちをめざします。

3 主要指標の見通し（平成38年）

(1) 人口・世帯数

109,000人 40,000世帯

(2) 年齢構成

年少人口（15歳未満） 14,700人

生産年齢人口 62,800人

老年人口（65歳以上） 31,500人

(3) 産業別就業人口

第1次産業 1,300人

第2次産業 15,600人

第3次産業 36,400人

4 まちづくりの目標

将来都市像の実現に向けて、分野別に7つのまちづくりの目標を設定し、施策を展開します。

〔健康〕

(1) 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり

（健康・福祉）

(2) 地域ぐるみで豊かな心と体を育み健康で活躍できるまちづくり

（教育・スポーツ）

〔笑顔〕

(3) 人と地域の交流で笑顔が生まれる市民主体のまちづくり

（市民生活）

(4) 市民の暮らしを支える快適で笑顔あふれる安全なまちづくり

（都市基盤）

〔元気〕

(5) 賑わいと活力がみなぎる元気なまちづくり

（産業）

(6) 自然・歴史・文化と人が交わり元気に輝くまちづくり

（観光・文化）

〔信頼〕

(7) 市民の信頼に応えるまちづくり

（行財政）

5 将来都市構造

白山市が有する豊かな自然環境との調和を重視し、これまでに培われてきた歴史・文化・経済などの特性を活かした魅力ある地域づくりや、暮らしに必要な様々な機能がまとまった快適な生活環境の整備とともに、市内外の連携と交流の促進を目指して、将来都市構造（土地利用ゾーニングと都市軸）を設定し、今後のさらなる人口減少や少子高齢化に対応した計画的で秩序ある土地利用の推進に努めます。

(1) 土地利用ゾーニング

① 中心市街地ゾーン

主要な駅周辺のまちなかを『中心市街地ゾーン』として位置付け、人・モノ・情報が集まり、様々な交流が生まれるにぎわいのあるまちづくりに努めます。

② 郊外市街地・工業ゾーン

中心市街地ゾーンの周辺に形成されている住宅地や商業地・工業地などを『郊外市街地・工業ゾーン』として位置付け、職住が調和し、白山市の活力を支えるとともに、安心していきいきとした生活が営めるまちづくりに努めます。

③ 田園・集落ゾーン

手取川扇状地に広がる田園穀倉地帯を『田園・集落ゾーン』として位置付け、営農基盤や居住環境が充実したうるおいのある環境づくりに努めます。

④ 水辺・里山ゾーン

日本海の海岸線や手取川・手取湖などの水辺空間及び丘陵地を『水辺・里山ゾーン』として位置付け、市民・来訪者の交流や自然とのふれあいの場としての環境整備に努めます。

⑤ 山間地ゾーン

豊かな自然が広がる山間地を『山間地ゾーン』として位置付け、貴重な自然環境の保全・整備と快適な利用の両立に努めます。

(2) 都市軸

① 広域連携軸

白山市と県外を結ぶ広域的なネットワークや主要な交通結節点へのネットワークを『広域連携軸』として位置付け、交流促進や防災に関する重要な軸として、機能の維持・充実に努めます。

② 地域間交流軸

白山市と近隣市町を結ぶネットワークや市内の主要な幹線道路などを『地域間交流軸』として位置付け、近隣市町との連携を強め、白山市の一体化と交流を促進する重要な軸として、新たな整備や機能の充実に努めます。